



11/29 校内研修(情報活用能力)

目的 十五中が取り組んでいる授業力向上プロジェクト「聴いて・考えて・つなげる授業」の中で生徒たちの情報活用能力をどのように育てていくかを教職員全員の共通認識を図る

日時 11月29日(水)
対象 全教員、校区小学校及び豊中市センター事業の研究指定校
場所 1年3組→音楽室 1年4組→教室 1年5組→教室 or 理科室

内容 提案授業と和歌山大学豊田教授からの助言、交流会

十五中ではタブレットが全員持ち帰りになりました。それに伴ってより広くタブレットを活用した授業の推進を行っています。提案授業を通して、それぞれの先生に主にタブレットを使うからこそできる授業の提案をお願いしました。どの授業も新鮮で、新しい授業の展開を知ることができました。それと同時にタブレットを使うだけではない、今までの聴いて考えてつなげる授業をさらに進めた授業にもなっていました。教科は違っててもすぐに活用できるような内容もたくさんありました。授業後の交流会でも活発に議論がなされ、授業者の先生も刺激になったことでしょう。タブレットを使った授業展開はまだまだこれから発展する分野です。様々な挑戦と試みの繰り返しで作っていくことが大切だと思います。その中では失敗も出てくるとは思いますが、一つ一つ解決しながら進めて行ければと感じます。

先生方の感想から

参観された授業の感想を教えてください。英語

- タブレットの利用の仕方やテンポが非常にいいと感じました。
- 非常にテンポがよく、授業が主体で、タブレットが十分に機能していた。タブレット

がなければこんな授業展開はないので、タブレットの効果を感じた授業でした。

- 授業のすべてにおいて生徒がいきいきと自分から活動しており無駄な時間がなかった。本時のねらいを導入する前段階として、関連した既存の知識を確認し、本時の新出文法事項を導入したのが大変効果的で良かったです。
- タブレットを使うための授業ではなく、振り返りや復習としてタブレットを活用されているところがすごいなと感じました。生徒が作業に慣れるには帯学習のように、継続的に取り組まないといけないなと思いました。

参観された授業の感想を教えてください。音楽

- 子供たちが楽しそうに授業に参加していて良かったです。共同編集で班のメンバーが協力している姿が良かったです。
- 0→1の難しい内容を子ども主体で、先生がほとんど喋らなくともできていたことに感動した。音源も短いもので今どきで、子どもたちに馴染み深いもので全員が課題に集中できていて非常に理想的だった。溢れる個人のアイデアを記録しておけば個人の評価にもなると思ったが、班としてアイデアを出し合って生まれる班のボディパーカッションもとても魅力的ですよね。共同編集ですぐに実践できるのはスピード感としては魅力的だけど、同じところを複数人で編集してる場面もちらほらあり、勿体無さも感じた。あれだけたくさんの時間が子ども主体の創作でもずっと課題に向き合っていて主体性花マルでした！お疲れ様でした。素敵な授業ありがとうございました。
- 楽しそうに授業を受けているのが印象的でした。班ごとに生徒たちのタイミングと意見で流れを進めていけるのがタブレットならではの良さでした。
- まず音楽の授業で楽器と歌以外にみんなで演奏できることに驚きました。実技教科として、タブレット端末の操作のみでは授業が成り立たないので、実習とタブレット操作をバランスよく使われていたので参考になりました。
- 生徒が楽しそうにボディパーカッションに取り組んでいる様子が分かりました。全体での生の発表も大事だと思いますが、(途中経過としての)録画で残すことも、生徒たちのやる気に繋がっていると思いますし、次回に見返したり、互いの班での進捗状況の交流としても使えるのかなと思いました。従来の授業スタイルとの変容が、一人一代端末の活用という点で見ることができました。ありがとうございます。

参観された授業の感想を教えてください。理科

- ICTとの併用の仕方が難しいなと感じた。
- 写真を撮った後、撮ったものをどのような使い方をして振り返らせればいいのかということを考えることができました。
- 実験の様子を写真で撮影できれば、経験を再体験できるため理解に繋がりがやすそう。
- 準備が大変だったと思います。お疲れ様でした。どの教科も細切れで見せていただきました。目的に応じてポイントで使っておられたのが印象に残りました。
- モニターでの指示の出し方など、とても参考になりました

- ・タブレットの使い方を考えるきっかけとなる授業でした。

参観後の交流について感想をおしえてください。

- ・理科の実験などどこまで生徒にタブレットを使わせるかが重要だなと感じた。
- ・タブレットの活用をしたいと思います。
- ・黒板とモニターと生徒のタブレットをどのような配分で使うべきか、より探っていく必要があると感じた。社会科で今からできることとしては、スライドショーを生徒に共有する事が効果的だと思う。
- ・効果的に学習が進める事ができる工夫や個別の進捗でというところを聞くことができて良かったです。
- ・時間があつたので授業者の先生と直接お話できて、苦労や取り組み(音楽で合唱はどのようにiPad活用しているか等)について話せてとてもありがたい時間でした。
- ・学びの多い研修になったと思います。豊田先生のお話が実践例なども時間的に十分ではなく、少し雑花的な感じにならざるを得なかった点が残念でした。
- ・授業でも役割分担がいる、と話していたけれどさすがに先生方は役割をあてがわずとも進行できました。今後の課題が意見交換できたのが良かったです。
- ・Teamsの基本的な操作方法を教えてもらったので、もらったので、今後使ってみたいです。
- ・十五中さんの取り組みと、悩みを交流させていただき、意義深い時間を過ごさせていただきました。一人一台端末の活用は、どの現場でも大いなる負担とともに悩みのタネとなっていると思いますが、頑張って実践されている活用例は大変ありがたいです。
- ・いろんな学校のタブレットの使い方の問題点を聞いてよかった。
- ・他校の先生、小学校の先生もおられて、15中の職員の話しやすい雰囲気プラスいつもと違う意見交流もできて良かった。
- ・普段は知り得ない他の教科の先生や他の学校の先生のタブレット使用に関しての想いを聞いたのが良かったです。
- ・たくさんの意見を聞いて、自分の中では想像もしていなかった使い方を知れて良かったです。ただ、教科によっては使いやすい、使いにくいがあるなとも感じました。
- ・十五中の2年生のアンケート結果を見た時に見た時に、調べ学習での活用は子供達にも身につけているが、実際の授業や家庭学習での定着が悪く、「楽しい」と思っていないことがわかった。今日の英語の取り組みのように、授業の中で「タブレットがあつてよかった」と思えるかが大切だと感じた。

和歌山大学 豊田教授のお話についての感想を教えてください。

- ・社会で活用できる能力をどこまで育成できるかということは今後考えていきたいと思った。
- ・情報活用能力を段階的に、系統立てて教えることが大切だと改めて感じました。
- ・情報活用能力と教科での活用についてのお話が聞いて良かったです

- ・ICTの目的について指導要領的にあまり深く考えられていなかったもので、わかりやすい具体例と共に提示されていてとても良かったです。ありがとうございました。

- ・教科の目的を達成するためのICT活用、生徒の情報活用能力のためのICT活用について、総合的な学習の時間と各教科の時間を総合的にデザインすることが必要だと感じました。
- ・授業時にふいに流れてしまった音楽が申し訳なさそうだったことがルールを理解しているという事だというお話に気づきがありました。
- ・今日はいつまでものお話だったので、他校の実践例などまだまだお聞きしたいです。
- ・豊田教授のお話は、いつも大変分かりやすく納得のいくお話で楽しみにしています。今日の最後に割愛された内容も、ぜひまたお聞きしたいと思いました。
- ・時間がなかったのですが仕方がないが、もう少し具体的な話が聞きたかった。
- ・短時間にわかりやすくまとめてくださったので、良い刺激をいただいた。が、反面短時間でもったいない気もした。
- ・発信するためにタブレットを使うことが重要と感じました。
- ・もっとお話を聞きたかったです。他校の実践やアプリなどの話が次は聞けると良いなと思います
- ・こういう時にはこういう使い方、こういう場面ではこう使うなど状況、場面によって使い分けが大事だなと感じました。
- ・もっと話を聞きたかった。研修資料のPPTのデータもらうことできないですかね??他の学校での取り組み例をもっともっと知りたかったです。

ご自身で行っておられる情報活用能力を育む工夫を教えてください

- ・道徳しか授業で行っていないが、モニターを使って授業できるように工夫していこうと思った
- ・タブレットで図式する
- ・合唱の音源をスクイメニューで送る程度。正直できていないです。
- ・情報モラルやデジタルシチズンシップについての生徒を啓発するお話
- ・色々失敗しながらも使っています。
- ・どの先生も(どの学校も)一人一台端末の活用を実践しようとした時に立ちはだかる「想定外の使われ方をしたらどうしよう?」の不安。おそらく、生徒たちの活用を進めることと並行して、デジタルシティズンシップ(情報モラルと言ってもいいと思います)教育の充実も大事かなということで、学校として頻度をあげて取り組むようにしています。
- ・タブレットで発表する内容をまとめた後、それをういていかにわかりやすく他者に伝えるかを考えさせるように促している。
- ・作文課題(調べる媒体を自由に選択させる(図書・iPad)、アウトプットの方法を選択させる(原稿用紙・word))、キーボード入力、teamsでの課題の提出、振り返りの提出、パワーポイントの作成とプレゼンなど、できる限りの場面で基本操作と共に評価物ができるように考えています



11/29 校内研修(情報活用能力)

ご自身で行っておられる情報活用能力を育む工夫を教えてください

- ・授業内で使っているパワポを生徒たちのタブレットにもTeamsで共有し、いつでもどこでも見ることができるようにしています。(TVだと見えにくいという意見もあった為)第2の教科書として活用しています。
- ・複数の情報から情報を選び取ること。(例)「織田信長はどんな性格?」ウェブサイトを複数検討して調べよう」としたらいろんな性格が出てきてどれが正しいのかを検討していく

今後、タブレットを活用した授業を推進していく中で、もっとこうなればいいのと言うのがあれば教えてください。

- ・豊中市全体で同じ取り組みができないかなと思った。
- ・ある程度のアプリ等の制限の解除
- ・生徒の情報共有の手段としての思考ツールは有効と感じています。同じフォーマットで全員が短い言葉で表現することにより、多数の思考の比較が容易にできるため。
- ・通信速度の向上・
- ・まず、教科書がデジタル化して一人一台端末を効果的に使える仕様が変わってくれば…と思います。そうすれば、どの先生も自然な形で活用が進んでいくのではないのでしょうか。
- ・ペンシルの導入
- ・豊田先生もおっしゃっていたが、工夫された教材を作成するのにかなりの労力がかかっている。それをもっと簡略化できたらと思う。
- ・教師自身がどのようにタブレットを活用したらいいのかわかっていないので、まずどのように授業で活用できるのかについて研修をもっとしてほしい。また生徒のタイピング能力に開きがあり、学習につながっていない生徒もいるのでまず生徒がタイピングに慣れることやパワーポイントの作成技術をつけさせる。
- ・わからないことをすぐに質問できる環境。。遠慮してしまう。

- ・Teamsでのアカウント名の変更(2265・・・の番号→せめて組・番に)、生徒と双方向にやりとりができるシステム(課題の提出と返却を何度もやり直せるような・・・。ロイロノートでできるようなことがしたいですことがしたいです)・
- ・誰が今、どんな画面を開いているか分かる専用のタブレットなどがあれば欲しいです。(違うことをしている人をすぐに見つけるため)
- ・タブレットを貸与ではなく、1人1台購入するor市が贈与
- ・調べ学習をするときに、どの教科の授業でも参考文献の調べ方など共通した事項を伝えている取り組みは、実践してもいいのではないかと思います。

今後、タブレットを活用した授業を推進していく中で不安なことがあれば教えてください。

- ・転勤先の中学校で同じようにタブレットを使って授業ができるかどうか不安です。
- ・教科書の内容等は調べれば、出てくるようなと思うので、それを単純に生徒にさせることが良いのか、もしくは教師の怠慢になるのか。
- ・ICT支援員さんに教えて貰いながら活用出来るよう取り組んでいきたいと思います。
- ・盗撮などのとんでもない事件が起こることが大変不安に感じる。
- ・タブレット授業の準備と授業後の取りまとめに時間を取られすぎる様な事がないかという不安はあります。
- ・今は過渡期だと思うので、生徒にも先生にもいろいろな反応があって然りだと思います。活用が進んでいき、本当に文房具と同じような存在になれば、特別なトラブルとかはずいぶん減るのではないかと思います。そうなる前に、推進する力が果ててしまうと勿体ないなと思います。
- ・正しい使い方の指導など不安しかない。
- ・自分が使い慣れる時間がない。
- ・タブレットで安易に情報を得られるが、生徒はそれらの情報が正しいか判断できないまま鵜呑みにしてしまう恐れがあること
- ・通信速度。容量。わからない時。
- ・タブレットを使う時に授業とは関係ないことをしている人への対応。(見つけた時は注意しますが...)
- ・考える時間を確保できるかどうか
- ・教科書が必要なくなっていくのではないかと思います。学校として次にどのフェーズを目指していくのか、情報リテラシー委員会の中で検討していただけたらと思います。